

令和4年9月30日

報道関係 各位

公立大学法人 名古屋市立大学
中央放射線部 部長 樋渡 昭雄
放射線技術科 技師長 笠井 治昌

フォトンカウンティング検出器搭載 2 管球 CT 「NAEOTOM Alpha」

全国の国公立大学で初めて契約を締結

名古屋市立大学病院は令和4年8月25日に、シーメンスヘルスケア株式会社とフォトンカウンティング検出器搭載 2 管球 CT 「NAEOTOM Alpha (ネオトム アルファ)」の導入における契約を締結しました。上記機器導入の契約締結は全国の国公立大学で初となります。全国では4施設目の契約締結となり、機器の導入は来年2月頃を予定しております。NAEOTOM Alpha の新しい検出器による検査は、テレビ放送がアナログ放送からデジタル放送に変わったかのように、鮮明で情報の多いCT画像を臨床医・患者さんへと届けることが期待できます。CT装置の精度があがり、被ばく低減や追加検査を防ぐことで診療時間の短縮による患者さんへの負担軽減や救急医療現場における効率化など、様々なメリットが期待されます。

【導入する機器の内容】

フォトンカウンティング検出器搭載 2 管球 CT
「NAEOTOM Alpha (ネオトム アルファ)」
シーメンスヘルスケア株式会社

【ポイント】

- 低被ばく
- 超高分解能
- 精度の高いスペクトラルイメージング
- 2 管球システムによる高い時間分解能



【期待できる効果】

フォトンカウンティング検出器は、従来の検出器のようにX線光子を可視光に変換するのではなく、各X線光子とそのエネルギーレベルを直接検出するため、より少ない放射線量で高解像かつ有用なデータを提供することが可能となります。また、被ばくを抑えることができるため、患者さんや検査を受ける方の負担を減らしつつ正確でスペクトラルイメージングによる包括的な検査が可能となります。そのため従来のCTでは見えなかった乳がんの微小石灰化や単純CTでの腫瘍の鑑別だけでなく、救急やすべての診療科において診断の向上が期待できます。少なくとも今後10年間は世界最高の画像診断装置としての活躍が期待されます。

※取材をご希望の際は、下記連絡先の病院広報担当（西岡・土井）までご連絡をお願いします。

【報道に関する問い合わせ】

名古屋市立大学 病院管理部経営課

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

TEL : 052-858-7113 FAX : 052-858-7537

E-mail : hpkouhou@sec.nagoya-cu.ac.jp